

令和5年8月4日(金)
令和5年度保健師中央会議
資料13

京都府における統括保健師ネットワーク

～重層的な連携体制をめざして～

京都府健康福祉部 統括保健師長

勝山 久美子

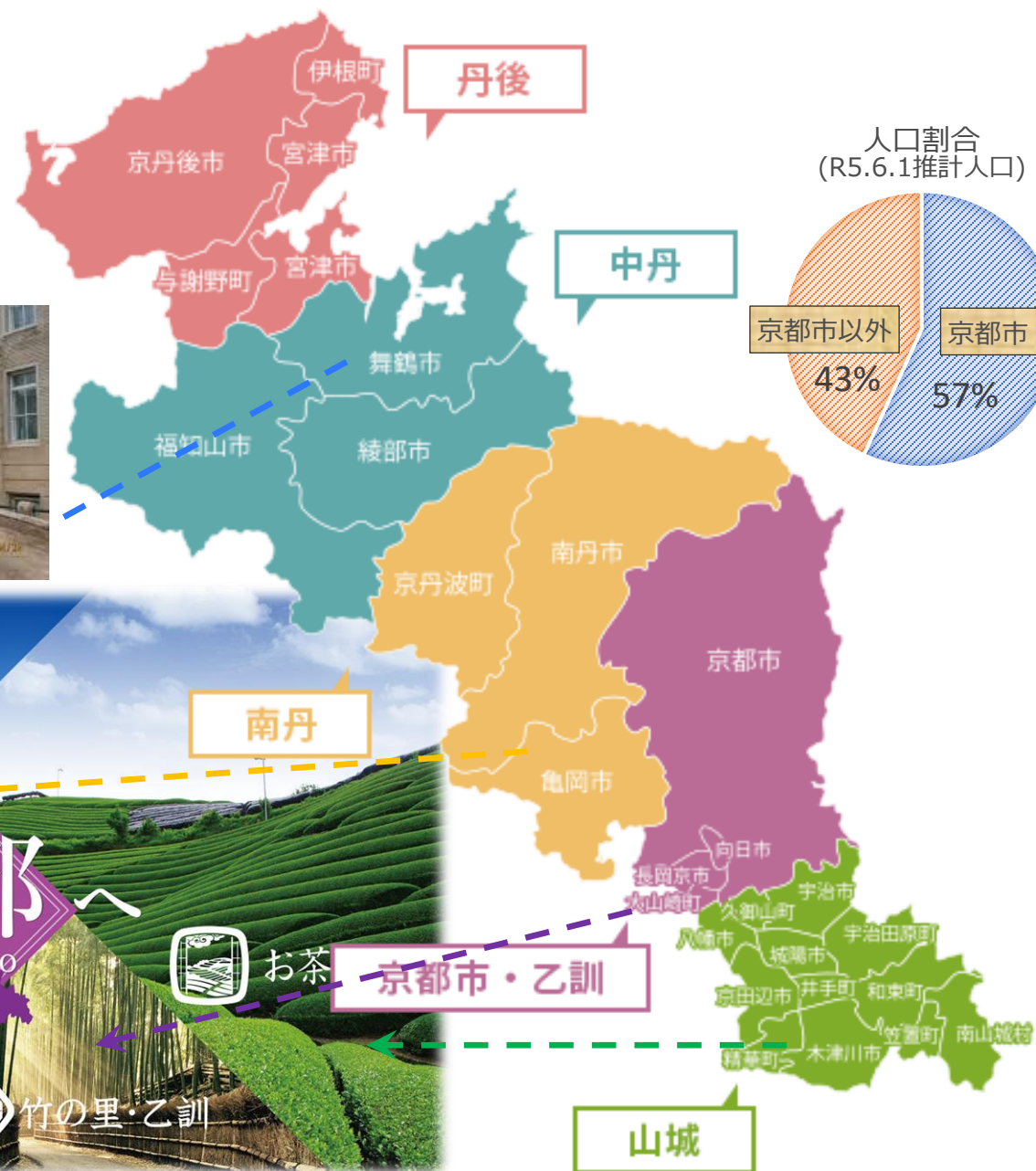


京都府広報監
まゆまる

京都府の概要



for Cultural Affairs moving to Kyoto
文化庁
京都へ



京都府の組織と保健師の配置（1）

（R5年8月1日現在）

健康福祉部

部長
保健医療対策監
副部長
技監
統括保健師長
1名（管理職）

こども・青少年総合対策室

子育て環境日本一の推進、母子保健 2名

健康福祉総務課

7 保健所(広域振興局健康福祉部保健所)

乙訓・山城北(綴喜分室)・山城南・南丹
中丹西・中丹東・丹後 95名(うち管理職4名)

高齢者支援課

高齢化対策、地域包括ケアの推進、介護予防事業 2名

医療保険政策課

医療制度の企画調整、医療・健康等に係る計画の総合調整 1名

家庭支援課

家庭支援総合センター 3名(うち管理職1名)

2 児童相談所 宇治・京田辺支所・福知山 3名

健康対策課

健康づくり対策、がん対策、感染症対策、難病対策
8名(うち管理職1名)

医療課

医療対策の推進、医療従事者の確保等 2名

1室
9課
1センター
16地方機関

京都府の組織と保健師の配置 (2)

(R5年8月1日現在: 117人)

丹後保健所

管内人口 85,032人
保健師 12名 (7,086人/人)

中丹西保健所

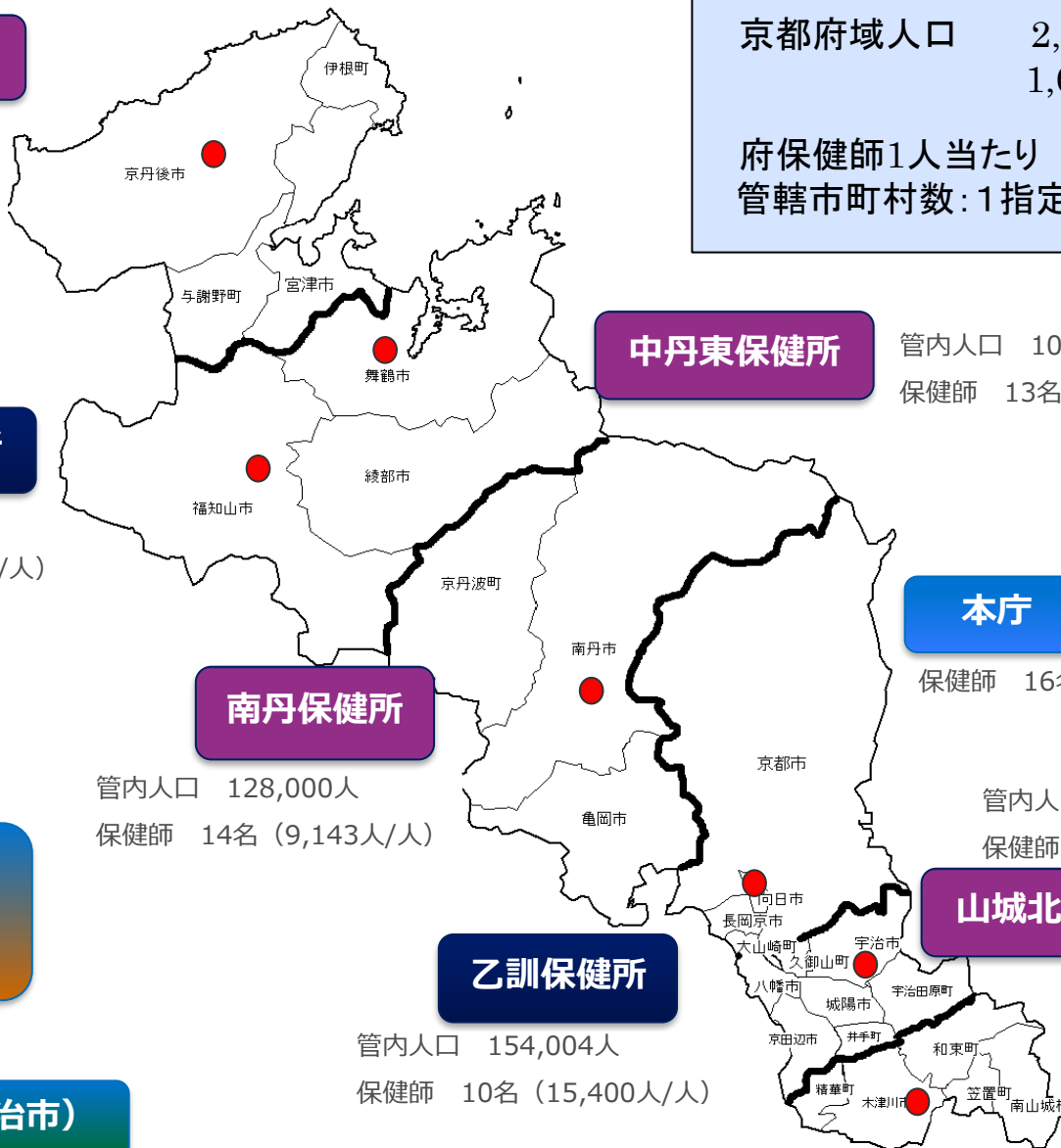
管内人口 75,744人
保健師 9名 (8,416人/人)

家庭支援総合センター
宇治児童相談所
福知山児童相談所

保健師 6名

人事交流 (京都市・宇治市)

保健師 2名



京都府域人口 2,541,166人
1,095,809人 (京都市を除く)
(令和5年6月1日推計人口)

府保健師1人当たり 9,366人
管轄市町村数: 1指定都市14市10町1村

中丹東保健所

管内人口 107,884人
保健師 13名 (8,299人/人)

本庁

保健師 16名

南丹保健所

管内人口 128,000人
保健師 14名 (9,143人/人)

乙訓保健所

管内人口 154,004人
保健師 10名 (15,400人/人)

山城北保健所

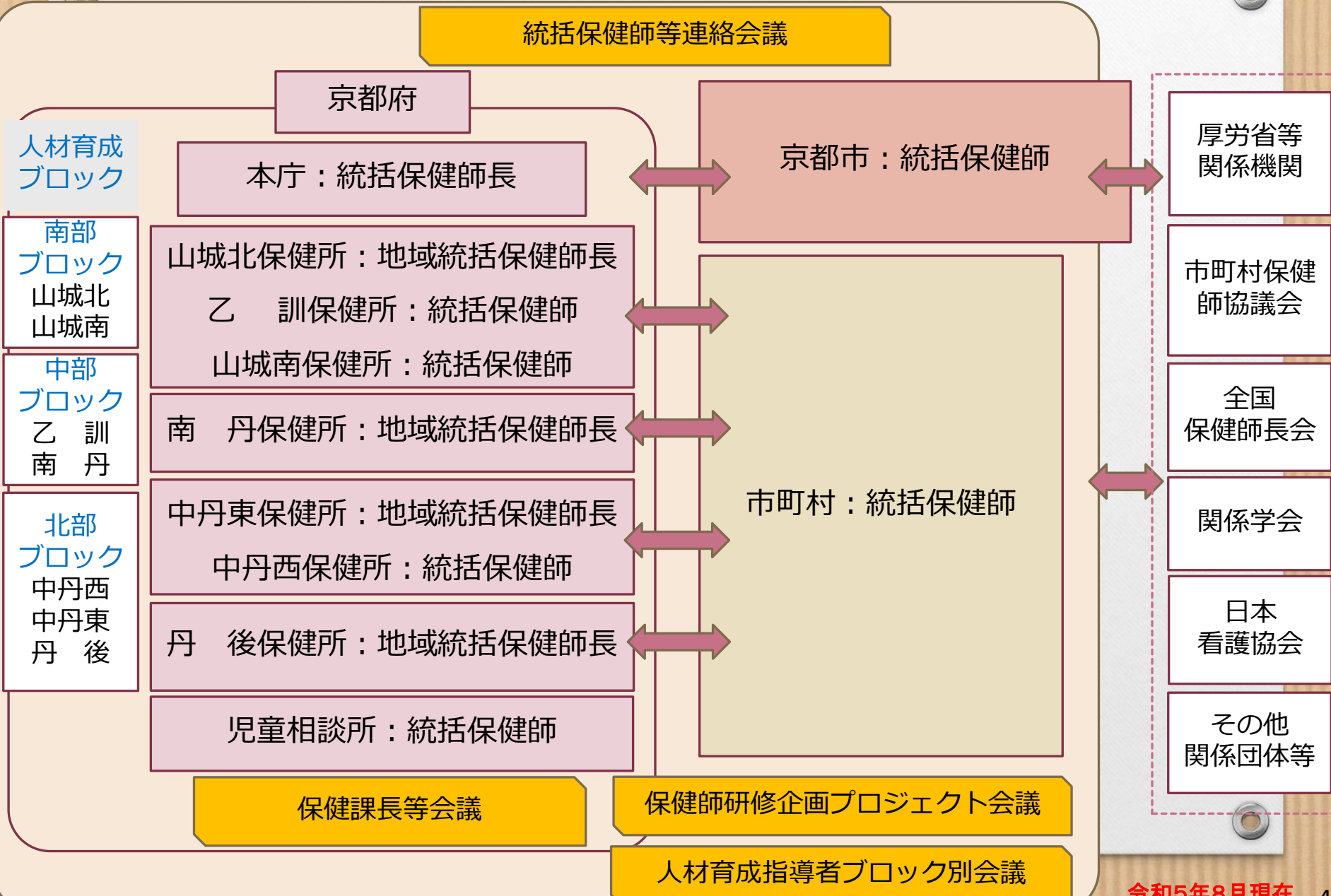
綴喜分室

管内人口 423,821人
保健師 26名 (16,301人/人)

山城南保健所

管内人口 121,324人
保健師 11名 (11,029人/人)

京都府における統括保健師の連携体制



統括保健師等連絡会議（H29～）

目的：京都府庁及び市町村の統括保健師等が、保健師活動の課題を共有し、情報交換・検討することにより、京都府域の保健活動の推進を図る。

対象：京都府地域統括保健師長、保健所統括保健師等
各市町村の統括保健師または統括的立場の保健師

招集：京都府健康福祉部統括保健師長

テーマ：「災害時の保健活動に関すること」「保健師の人材育成に関すること」
「新型コロナウイルス感染症対応を踏まえたこれからの保健活動」
「保健活動におけるICTの導入」 など

府内統括保健師が対面し
意見交換するため、

集合を基本とする

プログラムの一部を

リアルタイムで配信

次期統括保健師の育成



重層的な統括保健師連携体制をめざして

重層的な連携体制構築に至る経過

年度	国の動き	京都府の動き
H23年	「新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新人保健師研修ガイドライン作成検討委員会設置
H24年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府新人保健師研修ガイドライン」策定
H25年	「地域における保健師の活動について」健康局長通知	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府保健師の活動指針」作成の検討を始める。 ■ 保健師活動指針案（採用バランスの課題・府の保健師のめざす方向等）を部内幹部に説明。 ■ 「京都府保健師会」（南北の地域・年代を超えて保健師が交流、研鑽する場）設立。 ■ 「京都府保健師研修企画プロジェクト会議」設置
H26年	保健師に係る研修のあり方等に関する検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本庁に「統括保健師長」配置 ■ 「京都府中堅期・管理期保健師研修ガイドライン」策定 ■ 「京都府保健師活動指針」策定（保健所に統括保健師配置を明記）
H27年	「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ」自治体保健師の標準的なキャリアラダー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2保健所に「地域統括保健師長」配置
H29年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府保健師のキャリアラダー」策定 ■ 「統括保健師連絡会議」設置
H30年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府災害時保健師活動マニュアル」策定
H31年	「都道府県の為の市町村保健師管理者育成研修ガイドライン」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府版管理期保健師能力育成研修プログラム」策定（府・市町村の合同管理期研修）
R 2年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 4広域振興局全てに「地域統括保健師長」配置
R 4年	「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」改正	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「京都府保健師の新型コロナウイルス感染症対応の記録」作成
R 5年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 各保健所に「健康危機管理担当保健師」を配置

重層的な連携体制（1）

府統括保健師と市町村統括保健師を重層的につなぐ



府保健所統括保健師と補佐する保健師を重層的につなぐ



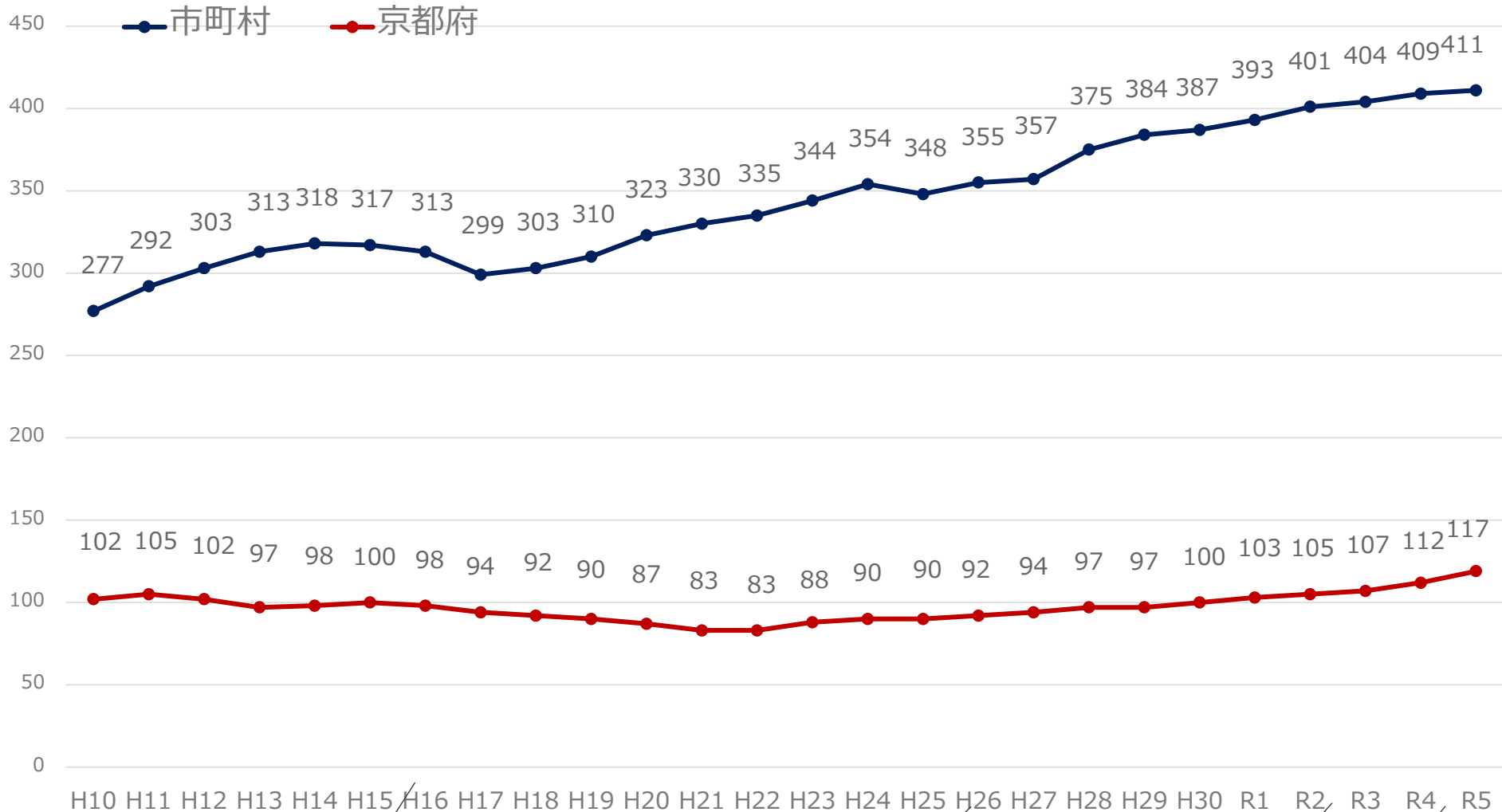
保健所統括保健師 ⇒（府）保健所保健課長等会議

係長（保健師活動全般） ⇒（府）業務別会議

教育担当保健師 ⇒（府）保健師人材育成プロジェクト会議
（人材育成）

健康危機管理担当保健師 ⇒（府）健康危機管理担当保健師連携会議
（危機管理）

京都府と市町村（政令指定都市を除く）保健師数の推移



府保健
所再編
12→7

統括保健
師新設

新型
コロナ
感染症
対策

保健所
機能強化
(健康危機
管理担当保
健師新設)

京都府保健師の人材育成

▶ 人材育成・キャリアラダー

京都府では、採用時に行う新規採用職員研修をはじめ、能力開発研修や実務支援研修、派遣研修など充実した研修制度を設け、京都府職員としての成長をサポートします。

さらに、保健師は、「新人保健師研修ガイドライン」「中堅期・管理期保健師ガイドライン」に沿って、体系的な研修体制を整えており、着実に実践能力を獲得することができます。

また、「京都府保健師キャリアラダー」によりキャリア形成のプロセスを可視化し、めざす到達度を明確にしています。自己評価や上司からの客観的助言を受けて、能力獲得のためのジョブローテーションに活かすことができます。

栄養士においては、府内での研修や国立保健医療科学院をはじめとする国の機関等が実施する研修への派遣、先輩栄養士からの支援、自己研鑽等を行いながら、実践能力を獲得できます。



京都府保健師活動指針

新人保健師研修ガイドライン



平成24年4月
京 都 府

中堅期・管理期保健師 研修ガイドライン



京都府保健師キャリアラダー
活用の手引き

平成30年3月
京 都 府

京都府・市町村保健師人材育成体系

京都府・市町村保健師人材育成体系

研修

キャリアレベルに応じた研修の機会を提供

階層別

ブロック・組織・業務別

管理期

中堅期

新人期

キャリアレベル

A1

- 新人保健師研修会(全体)[府]
- 健康危機管理研修会(基礎)[府]

A2、A3

- 中堅期保健師研修会[府]
- 事業評価研修(全体・個別)[府]

A4、A5

管理期保健師能力育成研修会[府]

B3、B4

保健師中央会議 [国]

統括保健師等連絡会議[府]

健康危機管理研修会[府]

全国保健師長研修会[国]

健康危機における保健活動推進会議[国]

業務別研修 [各関係団体]

研修会・一日研修会[市町村保健師協議会]

健康危機管理研修(実践) [府]

新人保健師研修会(ブロック)[府]

人材育成指導者連絡会
(ブロック)

保健師人材育成研修企画
プロジェクト会議

研修以外

学びあいによるキャリアアップを支援

自己研鑽の機会

- ・日本公衆衛生学会総会
- ・近畿公衆衛生学会
- ・日本看護協会
- ・全国保健師長会
- ・その他関係学会

チーム活動の共有

- ・庁内保健師連絡会議等
- ・管内保健師連絡会議
- ・京都府保健福祉環境等調査研究発表会

ジョブローテーション

- ・キャリアパスに基づく人員配置
- ・市町村派遣

成長の確認

- ・人材育成体制(実地指導者・教育担当者・人材育成責任者)
- ・統括保健師とのキャリアラダー面談

※京都府保健師キャリアラダー

京都府保健師のめざす方向

“今日”できる“京”の保健師

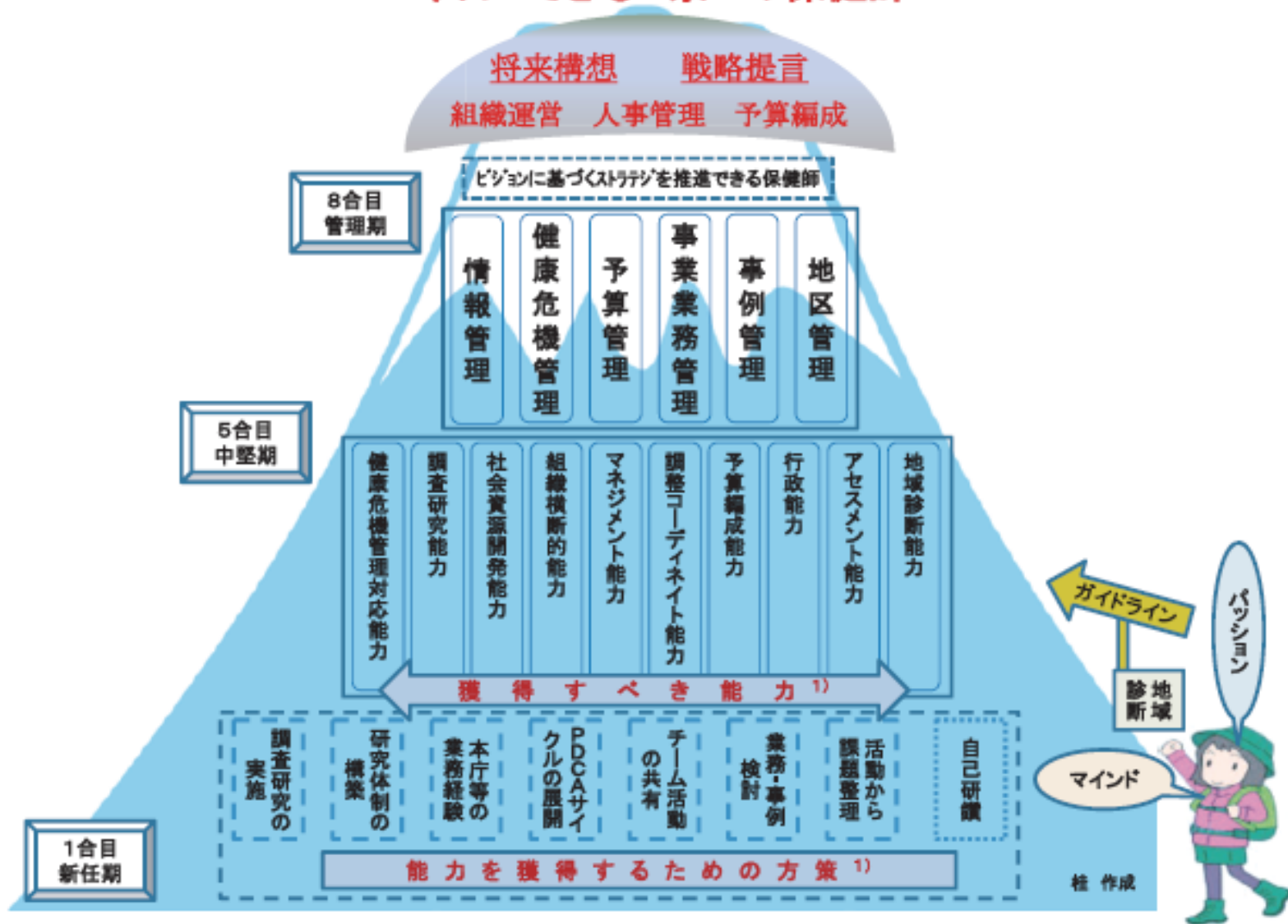
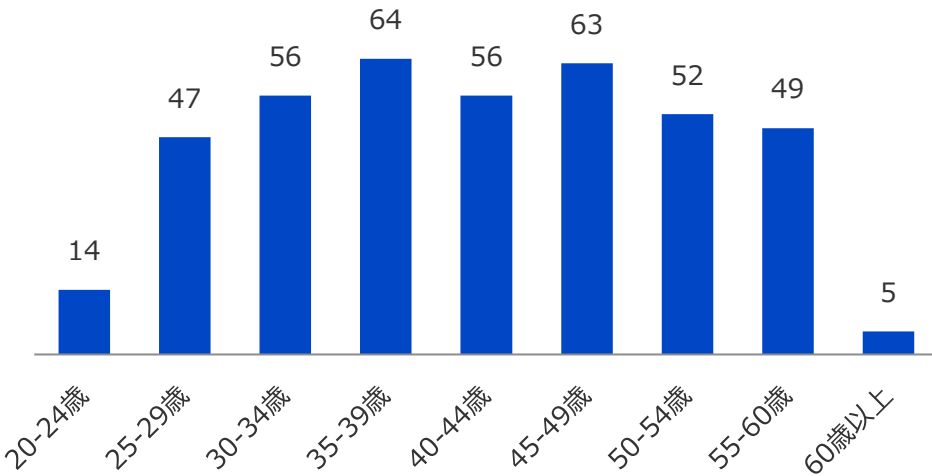


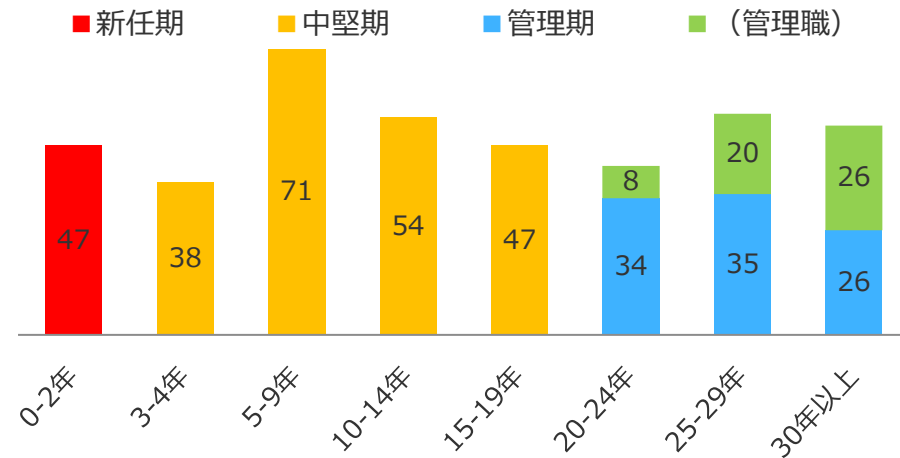
図1 京都府保健師のめざす方向（イメージ図）

京都府内市町村と府保健師の年齢構成

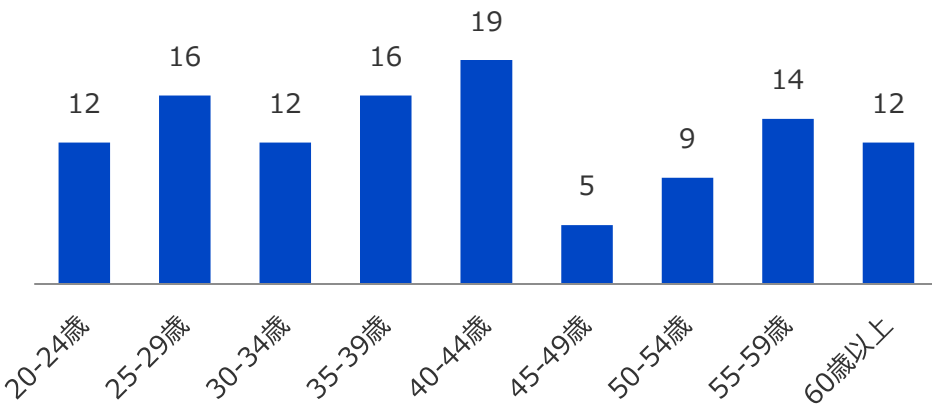
市町村保健師の年齢構成



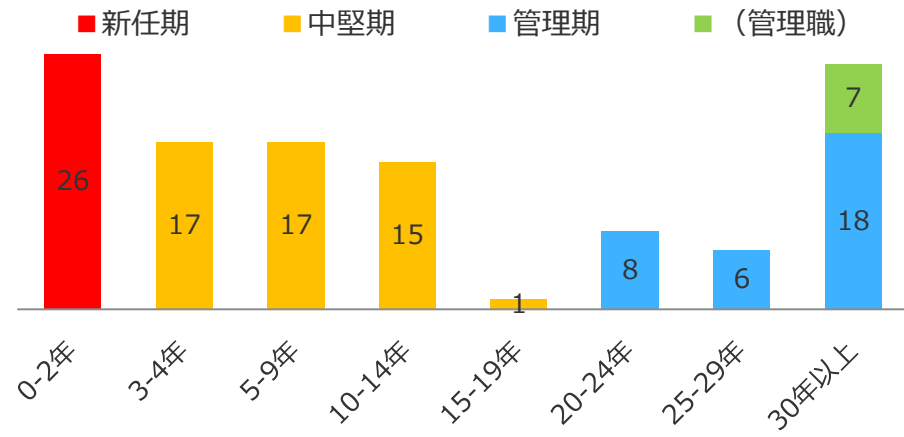
市町村保健師経験年数別人数



京都府保健師の年齢構成



京都府保健師経験年数別人数



まとめ

- 京都府における統括保健師設置や統括保健師間の連携体制構築は、保健師の人材育成体系構築の過程と密接に関連してきた
- 京都府の統括保健師間連携のめざすものは重層的な連携体制づくりである
- 重層的な連携体制の利点は、身近な相談から広域の状況把握までが一連であり、事象ごとにふりかえりやまとめが可能となる
- 新型コロナの保健師活動を踏まえて、今後の保健活動を再構築し危機に強い地域づくりが課題
- 保健師世代バランスの大波が目前、計画的な採用と新任期中堅期が役割発揮できる環境づくりを統括保健師間のネットワークにより実現していくことが重要



ご清聴ありがとうございました